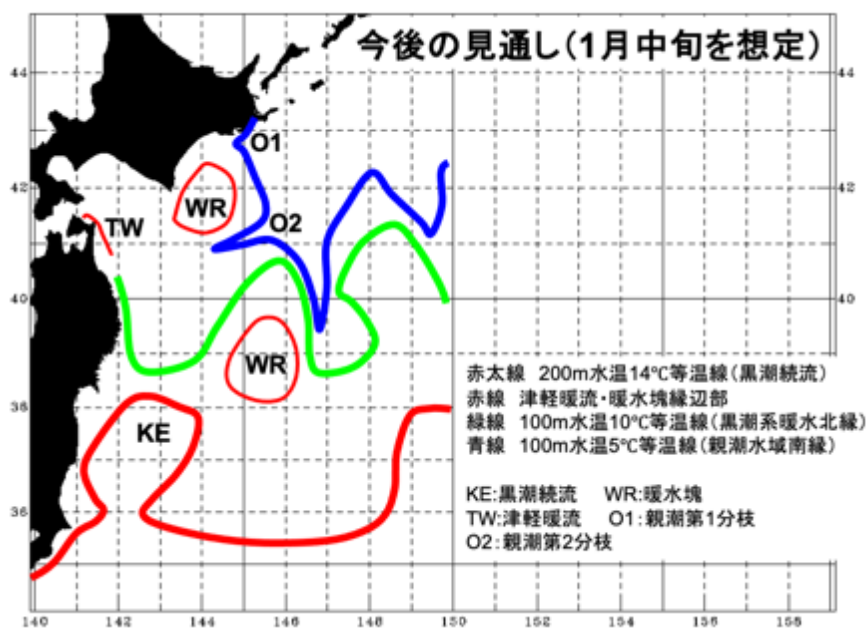


2024年度 第4回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(2024年12月中旬～2025年1月中旬)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置はかなり南偏～極めて北偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しはかなり北偏～極めて北偏で推移する。
- ・ 三陸沖に暖水塊ができ、下北半島沖の暖水塊は西進する。



問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
担当：海洋環境部（塩釜） 清水、長谷川
電話：022-365-1191、ファックス：022-367-1250
当資料のホームページ掲載先URL
<https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/>

2024年度第4回東北海区海況予報

《今後の見通し（2024年12月中旬～2025年1月中旬）》

近海の黒潮統流の北限位置はかなり南偏から極めて北偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しはかなり北偏から極めて北偏で推移する。三陸沖に暖水塊ができ、下北半島沖の暖水塊は西進する。

《海況の経過（2024年9月～2024年11月中旬）の特徴》

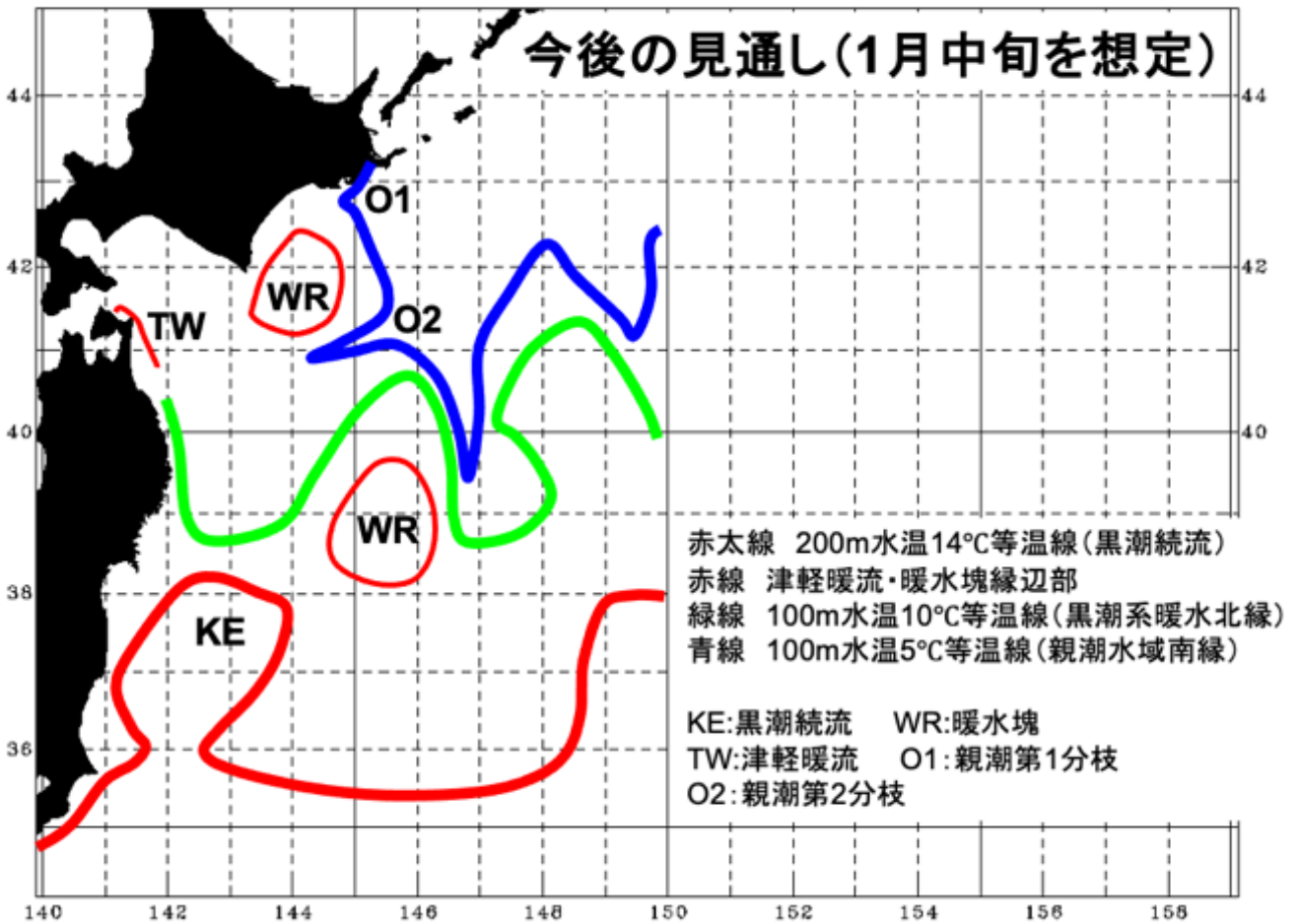
近海の黒潮統流の北限位置は極めて北偏で推移した。親潮第1分枝の張り出しはかなり北偏から極めて北偏で推移した。下北半島沖の暖水塊は停滞した。

《現況（2024年11月下旬）の特徴》

近海の黒潮統流の北限位置は極めて北偏、親潮第1分枝の張り出しは極めて北偏である。下北半島沖に暖水塊がある。冷水域が三陸はるか沖と襟裳岬沖にある。

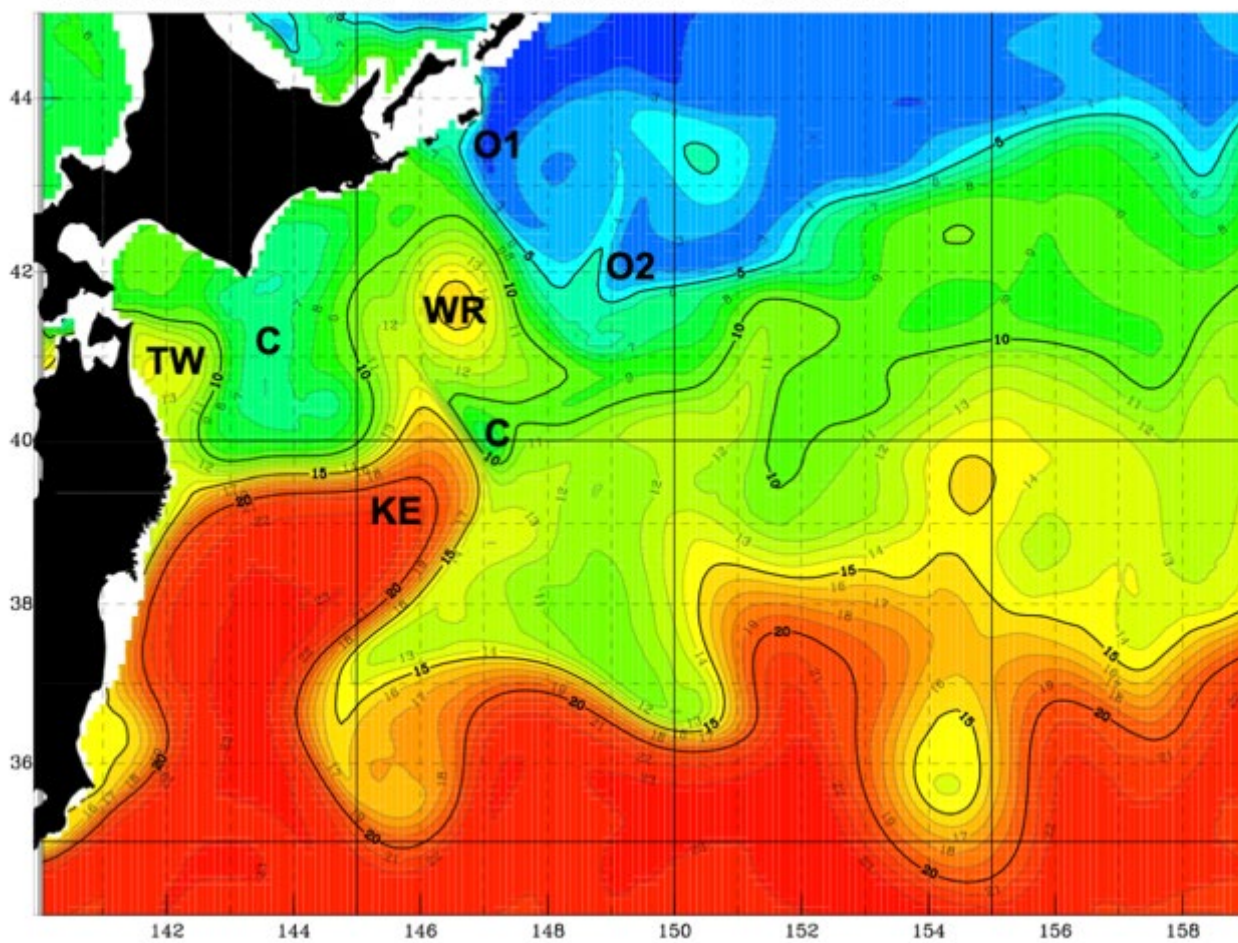
（注）この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2022年3月より運用を開始したFRA-ROMS II システムを用いた。FRA-ROMS II は、我が国周辺海域の海況経過を再解析し、2ヶ月先までの海況を予測する海況予測システムである。

1月中旬予測水温分布図



11月下旬現況水温分布図 (100m深)

TEMPERATURE AT 100m DATE: 2024/1121 - 2024/1129



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊、Cが冷水域を表している。

参 画 機 関

| | |
|--|--|
| <p>地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p> <p>茨城県水産試験場</p> | <p>(取りまとめ機関)</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p> |
|--|--|